

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 15 日

事務事業名		小中学校適正配置計画推進事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020103000930
						単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系	総合計画の施策名	O201		学校教育の充実				所属課	学校教育課
	政策名	O2		生きがいを育む学びのまちづくり				課長名	
	施策名	O1		学校教育の充実				グループ	企画・営繕グループ
	手段名	O3		③教育環境の整備				担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	06	02	00	小中学校適正配置推進事業		
法令根拠						桜川市立小中学校適正配置計画策定委員会設置要綱			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順		
	<p>■桜川市では少子化が進み、市内小中学校の児童生徒数が著しく減少する中、現在、1学年に複数学級を編成できない学校が存在するとともに、今後編成できなくなる学校が増加することが予測されている。教育委員会では、児童生徒の教育環境を整備するため、令和元年5月に、1学年2学級以上を目指した「第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画」を策定し、地域や保護者に説明会を行い、令和2年度に羽黒小学校と猿田小学校の統合を進めてきた。</p> <p>■現在、急激な出生数の減少から、「市立小・中・義務教育学校の統合に向けた今後の方針」について、検討しているところである。</p>		<p>【進捗状況】</p> <p>令和元年5月：第2次小中学校適正配置基本計画策定 // 7月：中学校区別説明会実施 令和2年6月：羽黒小学校・猿田小学校統合準備委員会組織 令和3年4月：羽黒小学校と猿田小学校の統合完了 令和4年3月：市立小・中・義務教育学校の統合に向けた今後の方針を検討</p>		

②事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 地域からの相談対応 説明会・懇談会の開催 統合準備委員会の開催回数 	適正配置に関する相談対応数 (のべ)	件	8.00	3.00	5.00	5.00	5.00
	説明会・懇談会の開催回数	回	3.00	1.00	5.00	5.00	5.00
	統合準備委員会の開催回数	人	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市内の小中学校への就学を希望する児童生徒 市内の小中学校 	市内の児童生徒数	人	2,797.00	2,742.00	2,700.00	2,700.00	2,700.00
	市内の小中学校数	校	13.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	市内の義務教育学校数	校	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が適正規模で学習指導が受けられる 児童生徒にクラス替えの機会が確保される 小中学校1校当たりの適正な規模が維持される 	適正規模を維持できていない学校数	校	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③ 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	3	55	
		事業費計 (A)	千円	0	3	55	
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
	10 需用費	3		10 需用費	55	
		合 計	3		合 計	55

事務事業名	小中学校適正配置計画推進事業	事務事業No.	20103000930	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
少子化による小中学校の児童生徒数の減少から、平成20年度に「適正規模等検討委員会」、平成24年に「適正配置計画策定委員会」を設置し、その2つの答申を受け平成26年6月に「桜川市立小中学校適正配置基本計画」が策定された。教育を取り巻く環境が変化したことから、令和元年5月に第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画を策定し、これを基に適正配置を推進している。令和3年度は、「市立小・中・義務教育学校の統合に向けた今後の方針」を検討してした。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
桃山中学校区において、保護者から桃山中学校敷地内での真壁小学校、紫尾小学校の統合及び桃山中学校とあわせた小中一貫教育校設立の要望・請願が行われ、平成30年に桃山学園が完成した。猿田小学校区では、羽黒小学校との統合にかかる要望書や嘆願書が提出され、令和3年4月に統合した。他の地域でも、少子化を懸念し他校との統合に関する相談が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公立小中学校は桜川市が運営・管理しており、その適正配置については政策体系に深く結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公立小中学校の維持管理は市の予算で行っており、公共関与は妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 学校は地域の象徴であるため、住民感情に配慮しながら、第2次基本計画を基に、適正配置を進めていくことになる。一方、コロナウイルス感染症対策として、学級編成の基準が変更となることから、教育を取り巻く環境を注視する必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 基本計画で示した適正規模が達成されず、市が適正と考える児童生徒の教育環境が維持できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業等はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限の事業費で実施している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内すべての公立小中学校について計画の基準に合わせて適正配置を進めるものであり、公正・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和3年3月に、猿田小学校と羽黒小学校の統合が完了した。その後、本市の出生数の急激な減少から、桜川市立学校の統合に係る今後の方針について検討を行い、3月に真壁地区の学校のPTA役員に対して、意見交換会を開催した。さらに、その方針について、令和4年4月1日の広報でお知らせをしたところである。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×	×		低下	×	×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○	×	×																					
	低下	×	×	×																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																							
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認